

マハタの種苗生産技術の開発



優良な親魚の養成

- ・適切な飼育管理
- ・栄養強化餌料の投与
- ・疾病対策



マハタ親魚

良質卵の確保

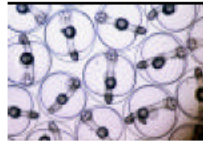
- ・環境制御による成熟促進
- ・ホルモン処理による排卵、排精誘導



マハタ採卵作業

人工受精

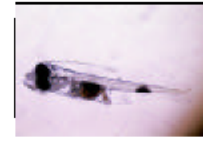
- ・適性な卵管理
- ・疾病対策のための卵消毒



受精卵 (0.8mm)

仔稚魚の飼育・育成

- ・飼育環境の管理
- ・成長に応じた餌料の投与
- ・疾病対策



ふ化仔魚 (2.5mm)



変態魚 (15mm)

種苗の出荷

- ・養殖および放流用
- ・中間育成試験
- ・養殖適性試験



稚魚 (45mm)

餌

SSワムシ

S型ワムシ

アルテミア

配合飼料

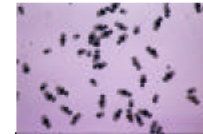
●マハタの生態

マハタは東京、新潟の南日本からインド洋に分布し、全長1m以上に達する大型のハタ科の魚類である。主として釣りや底曳網で漁獲され、高級魚として取り扱われている。本種の養殖もすでにおこなわれているが、ほとんどが韓国等から輸入された天然種苗に依存しているため、輸入量も変動が大きく、種苗の安定供給のために人工種苗の大量生産が望まれている。

しかし、本種の生態については不明な点が多く、種苗生産や養殖に関する知見も少ない。



SSワムシ
ふ化した仔魚に最初に与える餌
(0.10~0.15mm)



S型ワムシ
少し大きくなった仔魚に与える餌
(0.15~0.20mm)



アルテミア
変態期の仔稚魚に与える餌
(0.4~1.0mm)



配合飼料
人工的に作った餌で、魚の大きさに合わせて与える
(0.5mm~)